

団地のある風景

住宅都市として人口が急増した枚方市を象徴する団地。子どもたちはコマ回しやローラースケートなど、時代ごとの流行の遊びで大盛り上がりです。

香里団地

昭和31年、旧陸軍の火薬製造所跡で造成がスタート。139万平方メートル、5214戸の規模は当時「東洋一のマンモス団地」と呼ばれ、「つづり方兄妹」「喜劇・団地親分」など映画の舞台にもなりました。



▶ 昭和37年にはケネディ大統領の弟で当時の司法長官ロバート・ケネディ夫妻も訪れました。



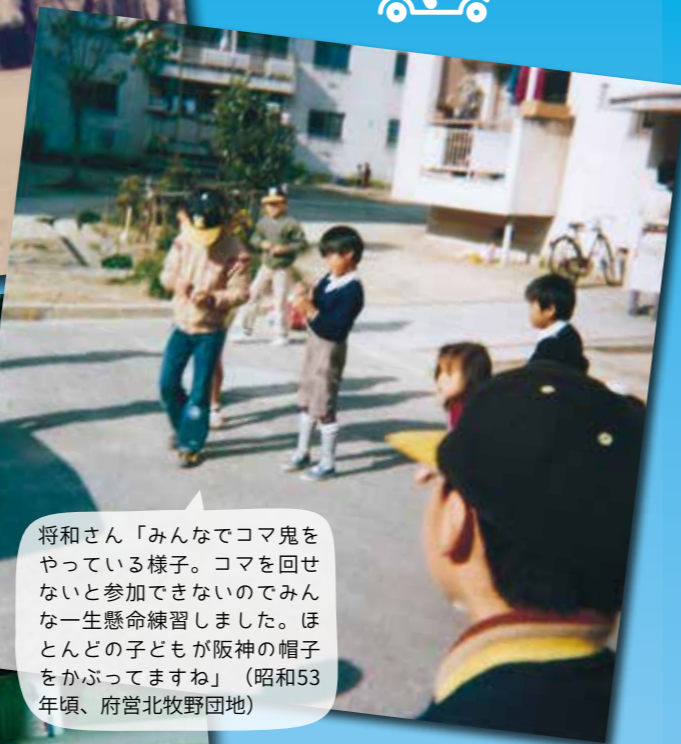
▼入居が始まった香里団地(昭和33年)



伏見隆さん「香里ヶ丘6丁目の祖母の家の前で姉と。バスが大好きで、菊ヶ丘から丘を越えて現われるシーンを今でも覚えている。この時もそうだったかな。姉と視線が違う」(昭和45年11月)



ハニーさん「小学4年生の時、田淵が巨人戦で放ったサヨナラホームランをテレビで見て大の阪神ファンになりました。ユニフォームを買ってもらって家の近くのグラウンドでポーズ。でも恥ずかしくてこの後は一度も着なかったような…」(昭和50年頃、中宮団地)



将和さん「みんなでコマ鬼をやっている様子。コマを回せないと参加できないのでみんな一生懸命練習しました。ほとんどの子どもが阪神の帽子をかぶってますね」(昭和53年頃、府宮北牧野団地)



ハニーさん「おそらく小学4年生の時。当時はローラースケートが大ブームで、放課後はいたるところで『ガーガー』とスケートの音が鳴り響いていました。きつとうるさかったでしょうね」(昭和50年頃、中宮団地)

Toshiyaさん「手前の平屋は中宮北町の近畿財務局枚方宿舎で、後ろに見えるのは中宮第三団地。新しい団地はとてもモダンで、時々見上げていました。近所で犬を飼っていたお兄さんと妹の三人で写真撮影。犬の苦手な私と妹のために、いつもかわいがっていた犬の耳をしっかりとつかんでくれました」(昭和45年)



伴晴香さん「女性に抱っこされているのが私。母の出産を聞いて、母が勤めていた会社の同僚がお祝いに訪ねてきてくれたそう。母のお友達はみんなおしゃやれで美人。着ている服は当時の流行のスタイルです」(昭和44年夏頃、香里団地大丸ビークック前)

大西信子さん「娘2歳3カ月。クリスマスプレゼントで当時流行の『キャンディ・キャンディ』の自転車に乗って得意げです」(昭和55年11月、桜丘団地)

伏見隆さん「祖父に連れられ、兄・姉と。香里団地の大丸ビークック付近と思われる。この頃の記憶はほとんどないが、祖父母は和服姿の記憶が残っている」(昭和45年)

